

授業科目名	実践アイデア発想	担当教員	西根英一	科目コード
配当年次	1年次・2年次	学期	前期	
キャンパス	名古屋	単位数	2単位	

## 講義の概要とねらい

### 概要)

クリエイティブ発想とロジカル思考の和をもって、知を視覚化しながらアイデアを発想し、事業を創発していきます。事業構想力のベースとなるビジネスアイデアをいくつかの発想法をもって体験していきます。

### ねらい)

本業をもって課題に取り組むという2軸の掛け合わせが最も簡単なビジネスの始め方です。多くのビジネスはX×Yの「2軸」で始動しています。アイデア発想を加えて、X×Y×Zの「3軸」を掛け合わせてみましょう。おもしろそうですね！（やってみる価値がありそうですね！の意）の芯がないとそもそもビジネスは発火しません。ビジネスアイデア(事業の発想・着想・想像)とは、ビジネスを始めるにあたってワクワクゾクゾクするといった《脈動》を感じるものでなくてはなりません。

## 到達目標

ビジネスアイデアを文字や数字の並びでなく、「数式化する」、「図式化する」、「地図にする」、「絵本にする」というような発想で、“アイデアを描く”能力を会得することを目標にします(=到達レベル)。さらに、フレームワークのままに留めず、ビジネスを起動させる「仕掛け」となることを期待します(=期待レベル)。

## キーワード

#アイデア #クリエイティブ発想 #アート思考 #デザイン思考 #ロジカル思考

## 授業の進め方と方法

毎回一つずつアイデア発想法を紹介し、課題に沿ってビジネスアイデアを創発していきます。少人数(5名程度)の複数チームに分かれ、ブレインストーミングからアイデアを拡散し、ブラッシュアップからアイデアを収束させます。各チームの発表に対しては全チームが交流します。

## 授業計画

授業計画		課題
第1回	オリエンテーション…#(ハッシュタグ)検索はアイデア発想の宝庫！世の中はアイデア発想の機会にあふれている。	予習として、どんなアイデア発想に乏しいかを事前に自覚しておくとうい。
第2回	「逆転発想」のリバース法…表裏や前後を逆にしたり、正誤や善悪を逆にしたり、矢印の向きを逆にしたり、立場を逆にしてみよう！この世界から見えてくるものは何？	復習として、「逆転発想」事例を日常に探し出し、列挙しておくとうい。
第3回		
第4回	「入力発想」のランダムインプット法…完成している文脈の中に、違う分野のキーワードや、異なる時間軸とか空間軸を移築してみよう！この世界から見えてくるものは何？	復習として、「入力発想」事例を日常に探し出し、列挙しておくとうい。
第5回		
第6回	「破壊発想」のアサンプションスマッシング法…常識等によって担保されている前提条件を無いものにしてみよう！この世界から見えてくるものは何？	復習として、「破壊発想」事例を日常に探し出し、列挙しておくとうい。
第7回		
第8回	「結合発想」のコンバイン法…適当な題目を複数(たとえば次元の異なる3つの項目を)折り込んで、即興で演じてみよう！この世界から見えてくるものは何？	復習として、「結合発想」事例を日常に探し出し、列挙しておくとうい。
第9回		

第10回	「演算発想」のアルゴリズム法…世の中のありとあらゆる変数を集めて、X軸×Y軸×Z軸と掛け合わせてみよう！ この世界から見えてくるものは何？	復習として、「演算発想」事例を日常に探し出し、列挙しておくといよい。
第11回		
第12回	「要件発想」のフィッシュボーンダイアグラム法…ゴールに到達するために必要なことを洗いざらいまんべんなく総ざらいしてみよう！ この世界から見えてくるものは何？	復習として、「要件発想」事例を日常に探し出し、列挙しておくといよい。
第13回		
第14回	MPD名古屋画廊「実践アイデア発想」グループ展…学んだアイデア発想法の中から一つを採用して、各自個別にビジネスアイデアを発表する。ビジネスアイデア創発までの経緯を作品として作成。名古屋校を画廊のごとく用い、作品を展示し、画廊来場者にアイデアを語る。	発表作品の準備を要す。
第15回		
<b>教科書</b>		
西根英一『ヘルスケアビジネスの図本』より「アイデア発想」の項		
<b>参考書、講義資料等</b>		
各テーマに沿った資料を毎回提示します。		
<b>成績評価の基準及び方法</b>		
チームテーマ発表(第2回～第13回)と個人成果発表(第14・15回)を評価の8割に設定します。残り2割は自らの「チーム」への参画度、他のチームへの交流度を平常点とします。		
<b>連絡先(メール・電話番号)</b>		
西根英一 : e.nishine@mpd.ac.jp		
<b>オフィスアワー</b>		
授業のある日に合わせ、名古屋校にいます。その他の時間帯はメール等で対応します。		
<b>その他</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイデア発想には正しいも間違いもありません。拡散と収束、結合と便乗、自由奔放なアイデア発想の交錯を楽しむこと。</li> <li>・第14・15回に向けて、発表作品を作成してもらいます。この準備にまとまった時間を要することが予想されます。</li> </ul>		